

# えほんのおへや通信



2014年10月1日(水)発行 サンガこども園

朝夕は肌寒くなってきました。十五夜が過ぎ、お彼岸が過ぎました。もう本格的な秋です。

**サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」10月号の紹介。**

## こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

### 「ぱんぱん あーん」

すとうあさえ文 / 堀川理万子絵

「ぱんぱん あーん」とパンが口をあけます。「ウィナーさん、レタスさん、おはいんなさい」。パンが次々に口をあけ、コロケサンド、たまごサンド、フルーツサンドができてあがります。



## こどものとも 年少版

2～4歳向き

### 「オバケ！ ホント？」

岡田善敬作

玄関の壁にオバケ！ 部屋の中にもオバケ！ 園庭に出たら、そこにもオバケ！ 園のあちこちに現れる、いろいろな姿かたちのオバケたち。



## こどものとも 年中向き

4～5歳向き

### 「クルトンさんと パンのきかんしゃ」

宮嶋ちか作

パン焼き釜と一緒に旅をしているクルトンさん。出会った相手にその場でパンを焼いてふるまう優しいパン屋さんです。ある町で、クルトンさんは、電車が止まって困っているサーカス団長とトラの子に出会います。



## こどものとも

5～6歳向き

### 「キリギリスくんと よるのおんがくたい」

伊藤知紗作

演奏するのが大好きなキリギリスくんが、ある晩ふと目を覚ますと、どこからか楽しい音楽が流れてきました。それは、夜の音楽隊の演奏でした。キリギリスくんは、夜の音楽隊と一緒に演奏したいと思いますが・・・



## ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

### 「こんにちは またあした」

工藤直子文 / はたこうしろう絵

秋の野原で女の子はいしころをみつけました。そこに、いろんな生きものがやってきます。そのひとつひとつに「こんにちは」と語りかけながら、……すてきな時間をすごします。



## 他にこんな絵本も購入しました。

### 100 かいだてのいえ

作：いわいとしお

3歳～



偕成社

縦にひらくながい絵本「100 かいだてのいえ」は、トチくんが手紙をもらうところから始まります。「ぼくは 100 かいだてのいえの てっぺんにすんでいます。あそびにきてください。」100 かいだてのいえ？ おもしろそう！ トチくんと一緒に試してみることにしましょう。

※年齢は目安です。

## 【雑感】

なかなか謝罪しない欧米人に比べて日本人はすぐにあやまると言われてきましたが、最近、日本人はあやまらなくなってきたそうです。うかつに謝罪して予期せぬ事態になることもあるので、謝罪は簡単にはしてはならないのは当然で可もかもしれません。

しかし相手が不満を訴えている時、どのように対応するかで、その個人や所属する組織の質がわかるものです。

人間関係の維持には、必要な謝罪というものがあると思います。若者だけでなく「自分は悪くない」「自分のせいではない」という声が次第に多くなっているのではないのでしょうか。

今一度、社会の一員としてどうあるべきなのか、考えてほしい。

【添付文書】

